

## 冬春トマト独立ポット耕システムにおける環境負荷低減技術の開発

- 実施期間：令和5～9年度
- 担当部署：野菜部
- 区分：プロジェクト（みどり戦略プロジェクト）

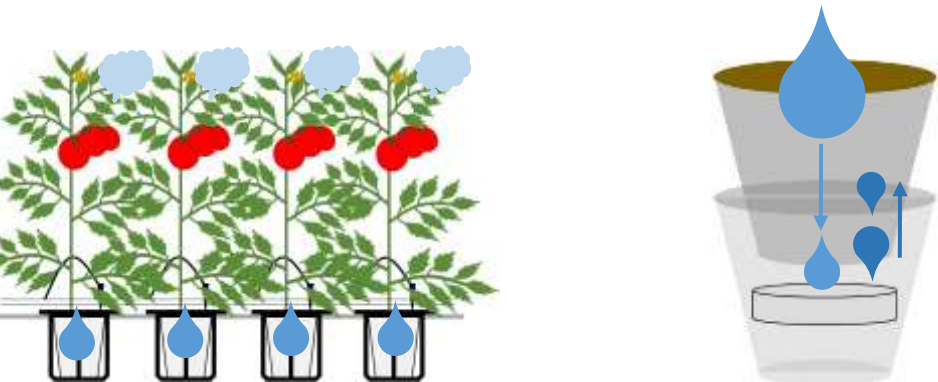
### ○研究内容

当センターが開発した冬春トマト独立ポット耕システムは新規就農者を中心に導入が進んでいますが、養液管理は病害防止の観点から循環方式を採用していないため、一定程度（約2割）の養液は利用されず排出される現状となっています。

そこで、樹液流センサーを用い推定した蒸散量と環境データ（温湿度、日射）から、時期ごとの給液適正量を明らかにし、給液管理の精密化を図るとともに、排液を回収し再利用する機構を開発し、化学肥料使用量の低減を図ります。

**現在** 農林水産省「みどりの食料システム戦略」策定（2021年5月）  
化学肥料使用量低減  
化学肥料の高騰（輸送費値上がり、中国環境保護政策強化、ウクライナ侵攻…）

**肥料低減技術が必要**



・給液の適正化  
蒸散量 $\equiv$ 給液量  
給液量 $-$ 蒸散量 $\equiv$ 排液 0

・排液の再利用  
2重ポット&吸水シートによる排液トラップ、再利用)

給液の適正化・排液再利用による使用肥料量を低減する